

第38回 連携会議記録

日時 2012/12/11 15:45～

会場 市民図書館視聴覚ホール

参加者数 22/26

会議の記録

<協議題1>「平成25年度 石狩市教育予算要望書」の交流 について
時間の都合上、12月27日の冬季研修会で実施することとした。

<協議題2>「保護者負担調査」の分析作業について
事務局より、提案内容を説明。

調査期間を当初12月21日までとしていたが、「冬休みの宿題」と再提案し了承。
出席者より以下のような質疑あり。

保護者負担調査において、「実験実習材料費」の意味するものの押さえが、人によって違う可能性があり、そのような状況下でデータ化しても、意味をなさないのではないかと、との質問が出された。事務局から、これまで4回保護者負担調査を実施しており、概ね「実習実験材料」の概念は定まっていると思われること、保護者負担調査票の小学校調査では、実験実習材料費という区分は一つだけなので、学校徴収しているものほとんどが、この区分に入るとと思われること、予算要望書の「保護者負担軽減要望」で、実験実習材料の保護者負担内容を調査しており、その意味でも実験実習材料の概念は概ね定まっていると思われること、作成された集計表を見てから指摘の点についても検証するようにしないと、保護者負担調査から全く先へ進まないことになること、などを説明。加えて、調査自体は実施するが、改めて自身の調査回答内容を確認していただいたうえで、今回の調査に臨んでもらいたいこと、締め切りまでの時間を確保したので、日刊連携会議等で再度丁寧な説明を行ったうえで調査に臨んでもらうこととした。

調査表の「児童生徒一人当たり平均負担額」の回答について、特別支援学級を含めた回答は大変困難、との意見が出され、事務局より次のように回答。今回は特別支援学級を除いた調査とするが、特別支援学級の財政課題については、別の場面でしっかりと調査する。

保護者負担をゼロに近づけるとりくみと考えてよいか、という質問に対し、事務局より「そのとおり」と回答。

<実践交流>

資料は用意されていなかったが、出席者より、「学年・学級だより」が大量に印刷されており、予算を圧迫している。対策は？との質問あり。これに対し、学校評価で問題提起する、「学年・学級だより」に係る経費データを作成して公表しては？等の意見あり。なお、当該校では、印刷の不足分は学年学級費で対応してもらおうようお願いしていることについて、保護者負担を助長する懸念ありとの意見が出された。

<連絡事項>

事務局より「事務職員の仕事調査」の実施について日刊連携会議103号をもって説明。出席者より、「表中の業務項目それぞれについて、どの程度のキャリアを積み取組むことが可能か、についても調査してほしい」との要望あり。事務局から、「業務内容一覧」は道教委が作成したが、これまでの私たちの概念にはなかった内容が多く、現時点で質問内容に沿った回答は困難と思われる、と回答。しかし、冬季研で、質問の内容にも沿った柱立てについて検討することとした。